

参観実習

参観実習とは、教育現場の現状把握ならびに進路選択の機会として、全学の教員志望者が1年生で受講します。

参観実習の趣旨

参観実習は、取得希望の校種・教科に合わせて、大学近隣の幼稚園・小学校・中学校に赴いて授業の様子をただ参観するというのではなく、“教える立場”で学校の1日を体験することで、大学の授業で学ぶ理論が実際の教育現場でどう生きるのかを身をもって知ることができ、教職課程の学習に対するモチベーションの向上につながります。また、その後の教育ボランティア等に対する事前学習の効果もあります。

参観実習に関する心構え

参観実習は、“教える立場”で学校の1日を体験しますので、ただ学校現場に行けば良いものではありません。参観実習に先立って行われる事前指導に出席をし、必要な書類の提出を行うことはもちろん、参観実習当日も学生気分ではなく、教員を目指す者としての十分な自覚をもって臨んでください。また、当然ですが、受入れ校・園の教職員の方々の指示に従い、勝手な判断や行動は絶対に慎んでください。

参観実習の概要

1. 対象

教職課程を履修している1年生

2. 日数

幼稚園・小学校・中学校・保育園のいずれか1日（終日）

3. 時期

教育学部：1年次春semester（7月初旬）

他学部：1年次秋semester（11月中旬）

4. 費用

学校までの交通費、給食代等の実費は各自が負担します。